

神奈川新聞

THE KANAGAWA

2013年[平成25年]

4月23日[火]

仏滅

©神奈川新聞社 25419号

〒231-8445 横浜市中区太田町2-23

総合受付 045-227-1111[1カ月3100円・1部120円]

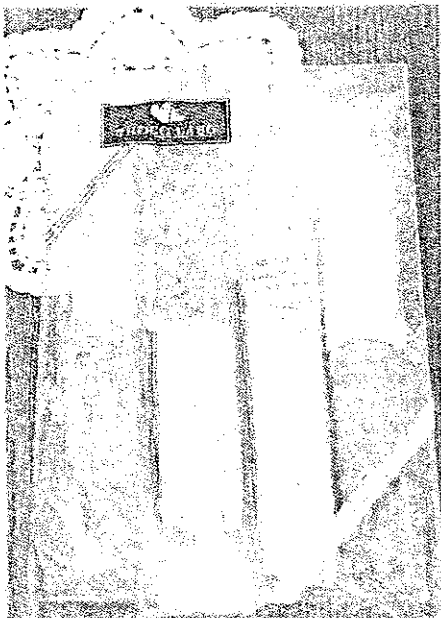
(平成25年) 4月23日 火曜日

神奈川新聞

障害者の自立支援を狙いとした障害福祉サービス事業所「ショコラボ」(横浜 市都筑区)が製造・販売するチョコレート菓子が「本格的な味わいでおいしい」と人気を集めている。

ショコラボは、障害者の就労支援を目的に、一般社団法人のAOH(伊藤紀幸 会長)が運営。昨年11月にオープンし、20〜40代の約10人の知的障害者らが就労している。

扱う商品はドライフルーツをチョコレートに浸した物など数種類。今月にはナッツなどを砕き、さくさ



ショコラボの新商品「ショコLABO(棒)」。ちゅちゅとした食感が特徴的だ(AOH提供)

「本格的味わい」人気

横浜のショコラボ

障害者の自立支援狙い

くとした食感が特徴の「ショコLABO(棒)」(4本1100円)を新たにラインアップに加えた。レシピはショコラティエとして知られる野口和男氏が監修しているという。

チョコに浸す人、シールを貼る人と、障害者は役割分担を与えられて作業。商品はインターネット通販のほか、毎月2回、小さな傷付きなどがあるB級品をショコラボでアウトレットとして販売している。ほかには県内のレストランなどに卸しているという。

AOHの伊藤会長は「購入した人がわくわくできたり、癒やされる商品を販売するだけでなく、就労している障害者も楽しく働ける場をこれからも提供できれば」と期待を込めている。

インターネット通販は <http://chocolabo.or.jp/>

問い合わせはショコラボ 045(507)8008

(田中 祥子)